



夢・風・海 2022

海光る町学園小佐々中学校
学校だより
(令和5年3月3号)
文責 校長 田雑 健
令和5年3月17日(金)発行

小佐々中校訓 : 「英知 信愛 活力」

望ましい生徒像 : 英知:自ら進んで学ぶ生徒 信愛:心豊かな生徒 活力:健康でたくましい生徒

3年生 巣立ちの日に



14日(火)、すばらしい晴天に恵まれ、予定通り本校第54回卒業証書授与式を開催することができました。多くの方々からの祝福のもと、62名の卒業生が本校を巣立っていきました。急に学校が静かになったようで、いささか寂しい気もしますが、年度の終わりに向けて、これからのラスト1週間を大切にしましょう。



さて、進級を控え、今の1・2年生には今後、自分たちが担う立場や果たすべき役割を考えてほしいと思います。

1年生は、新2年生「中堅学年」として、新3年生と新1年生をつなぐことが期待されます。今まで先輩に世話してもらった分を、後輩である新1年生に返していきましょう。

2年生は、新3年生「最上級生」として、「小佐々中の顔」となります。先輩から受け継いだことを、しっかり実践していきましょう。言葉で、そして行動で後輩に範を示せる先輩になってください。大いに期待しています。

4月からは令和5年度のスタートです。

新たな気持ちをもって、各学年の良さを存分に発揮してほしいと思います。そして、その1年の間に新たな自分、新たな級友の姿を発見してほしい。自分の夢・憧れを「志」へと高めてほしいとも思っています。



日々の積み重ね

卒業式前日の13日(月)、表彰伝達を行いました。多くの方が「努力の賜物」として表彰を受けたということはとてもうれしいことです。①本番までに工夫や努力を積み重ねること ②「ここが本番」という1度しかない機会に全力を出し切ることの2点は今後も多く求められます。努力は必ず力となって返ってきます。「努力に勝る天才」はいないのです。

「ありがとう」と「頑張っただね」

小佐々中において、他校にないもの。それは『学力向上戦隊ガンバルンジャー』の存在です。日頃から小佐々中生徒のために活動してきた5人の勇者たち(確か昨年度から+1羽)。

13日(月)、そんなガンバルンジャーが、集会に登場しお別れのあいさつがありました。小佐々中のために、生徒全員を見守り、励ましてきてくれたガンバルンジャーのみんな、ありがとう。そして「新」ガンバルンジャーのみんな(+1羽)、先輩の後を受けて頑張ってくださいね。



いよいよ今年度のラスト1週間
体調管理に十分気を付けて過ごしましょう
「終わり良ければ総て良し」といきたいものです。

第54回卒業証書授与式

14日(火)、第54回卒業証書授与式を挙りました。雲一つない抜けるような青空のもと、62名の卒業生が巣立ちのときを迎えました。

3年生は登校後、在校生が飾りつけた教室で、なごやかな時間を過ごしていました。

9時57分から【卒業生入場】、予定通り10時に【開式】し、【国歌・市歌】【学園歌】を久しぶりに

斉唱した後、62名の卒業生に【卒業証書授与】を行いました。一人一人が緊張の中にも清々しい表情で証書を受け、これまで、そしてこれからに思いを馳せているように感じられました。



【校長式辞】では、保護者・地域の皆様これまでのお礼を申し上げます。卒業生に対しては、最上級生としての活躍を称え、今後一人一人が臆することなく新たな一歩を踏み出してほしいと話いたしました。

【教育委員会告示】では、佐世保市教育センター所長様にご登壇いただき、市教育委員会からの告示を頂戴しました。

その後、本校PTA会長様より【祝辞】を賜りました。コロナ禍に揺れた中学校生活であったが、そのなかで奇跡的に知り合った友を大切にすること、自己研鑽を怠らず常にチャレンジすること、そして自分の信じる道を後悔しないように進んでほしいとお話をいただきました。

【記念品・祝電披露】では、佐世保市長様からの祝辞を頂戴し、文書として配布させていただいていることをお知らせしました。次に記念品として市教委からは証書用の筒を、本校PTAからは印鑑と紅白饅頭を頂戴したこと、また、卒業生の前途を祝うゆかりの方々から多数電報を頂戴していることをご披露いたしました。

続いて、生徒会長が登壇し在校生を代表して【送辞】を述べました。最上級生として、初めての行事の場でも全力で取り組み、後輩を指導してくれたこと、部活動や生徒会活動でも頼れる存在であり、常に目標としてきたことを語り、卒業生を送るとともに、これから自分たちが伝統を受け継ぎ、さらに小佐々中を発展させていく決意を述べました。その後、在校生一同で『あなたへ』を合唱しました。

次に、卒業を迎える2名が卒業生を代表して【答辞】を述べました。コロナ禍のなか制限はあったが、それゆえに全ての行事に全力で取り組んだこと、学年目標「輝石(きせき)」のもと心を一つにして様々なことに挑戦したことをあげ、この1年を振り返り、地域・保護者のみなさまへ感謝を申し上げ、後輩に小佐々中を託し、「失敗を糧とし、未来に向けて自分自身がしっかりと向き合うことを大切にして、これからの自分の夢に向かって進んでいきます」と締めくくり、卒業生の最後のメッセージとしてくれました。その後、3年生で『群青』を合唱しました。

送辞、答辞のあと、最後に【校歌】へと続き、【閉式】いたしました。

式後、【卒業生退場】の折には、昨年度に引き続き<唱歌の会>様から頂戴した『仰げば尊し』のテープをかけさせていただきました。会のみなさまの心のこもった歌声に送られ、卒業生は会場を後にしました。

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ拡大防止のため、ご来賓へのご案内を控えるなど、制約のある中での式となりましたが、多くのみなさまのご理解・ご協力のおかげで、62名の卒業生の門出を祝うすばらしい式になりました。本当にありがとうございました。

